

第2章 理想の街にむけて

1 行動計画と数値目標

「理想の街」の実現に向けた各プロジェクトの具体的な活動内容について、行動計画と数値目標を設定しました。

行動計画、数値目標

ながの環境パートナーシップ会議			
目標	市民・事業者・行政のそれぞれが適正に役割を分担しつつ、対等の立場で協力して、環境保全活動に取り組めるようにし、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐこと		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者、行政との役割分担の協働事業の推進 シンボル事業の実施、ニュースレターの発行 など ・新アジェンダの推進 新アジェンダの進捗管理(実施プロジェクト・新プロジェクトへの支援 など) 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	ながの環境パートナーシップ会議への参加者数 (年間・延べ人数)	4,116人	5,000人
	ながの環境パートナーシップ会議の環境保全に関する取組件数 (年間取組件数)	238件	266件
	プロジェクト実施件数 (年間実施件数)	11件	16件
プロジェクト名	I-1 スキー場跡地の自然復元プロジェクト		
目標	平成21年度末をもって閉鎖となった長野市大岡の聖山パノラマスキー場の跡地を、地域の環境に適合した植生に復元し、伝統的土地利用を考慮しながらCO2吸収源の拡大と、ボランティアによるネットワークを構築する		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地の植生調査及び出現種調査の実施 ブナ芽生えの鉢上げ・希少種保全のための草原の草刈り・草原の出現種調査 ・地域に適合する隣接山林などの種子・育苗採取の実施 ・育苗及び草原の植生管理の実施 ・育成樹木の植林による森林再生の実施 ・大岡小学校の森林体験学習会の実施 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	31人	150人
	森林再生整備済面積 (目標年度までに整備する面積)	—	3,000㎡

プロジェクト名	I-2 市民の森づくりプロジェクト		
目標	四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。多くの市民は、この里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができる。そういう森を造っていく。		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の維持管理、有効利用に関する市民の理解を深めるために森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、を企画し実施する。 ・「市民の森」を市内に複数設置するための調査、折衝などを行う。 ・多くの他団体や、個人、事業者との連携を図り、事業を展開する。 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	549人	1,000人
	「市民の森」の設置数 (目標年度までに設置する数)	1	2
	「市民の森」として整備する面積 (目標年度までに着手する面積)	4.5ha	10ha

プロジェクト名	I-3 生態系豊かな、水に親しめる川づくりプロジェクト		
目標	市街地を流れる川には清らかな水が流れ、多くの生き物が息づき、周辺を散策する人々が心いやす水辺を備えたまち		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と協働による川中島町今井原「せせらぎ川」の改修 ・市民参加による観察会の開催 ・身近な水環境の全国一斉調査への参画 ・信州大学生地域環境演習への参画 ・先進地視察 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	245人	300人
	身近な水環境の全国一斉調査の 実施箇所 (年間実施箇所)	20か所	40か所
	今井原「せせらぎ川」の 改修するの長さ (目標年度までに整備する長さ)	50m	200m

プロジェクト名	Ⅱ-1 生ごみ削減・再生利用プロジェクト		
目標	市民一人一人が地球環境の悪化を懸念し、ごみの削減・再生利用に努め、排出量を減らし、また、地域ごとで多くの市民が生ごみの減量化・再資源化に取り組み有効活用できるようにする		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・芹田地区の生ごみ削減・再生利用モデルを推進する。 ・「生ごみの削減・再生利用キャラバン隊」(生ごみPT)が、住民自治協議会を通じ、市民に呼び掛け、生ごみ削減・再生利用の実習を行う。 ・生ごみを可燃ごみとは別に分類し、地区ごとに再生利用する方策を作成する。 ・安茂里地区・若槻地区の展開を推進する。 ・地区ごとの生ごみ自家処理(コンポスト・段ボール堆肥化など)を促す。 (目標:住民自治協議会5地区) 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	769人	1,000人
	可燃ごみに占める生ごみの割合	41.8%	31.8%
	生ごみ処理によるCO2排出量 (対平成24年度比10%減)	45,344 t	40,080 t

プロジェクト名	Ⅱ-2 食品トレイ使用削減プロジェクト		
目標	限りある地球の資源を大切するため、食品トレイの使用を減らし、持続可能な社会活動が営まれるようにする		
行動計画	事業者の活動に委ねチームとしての活動は終息させる方向で検討していく		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	76人	—
	トレイリサイクル率	—	—
	協力店舗数	—	—

プロジェクト名	Ⅱ-3 レジ袋使用削減プロジェクト		
目標	資源を大切にするため、ごみ減量に対して市民が主体的に買い物袋(マイバッグ)を持参する意識を定着させることなどし、レジ袋の使用を減らす		
行動計画	①多くの団体や組織と連携を取りながら活動を進め、レジ袋の無料配布中止に向けて取り組む。 ・協力事業者との連携強化 ・小規模店舗への推進(対象の検討、働き掛け) ・県・千曲川流域と協力及び参画 ②レジ袋使用削減の意識啓発を進める。 ・取組状況の見える化 ・地域商店会、小売店との連携協力(啓発用ステッカーの掲示等) ・店頭キャンペーンの見直し検討、持参率調査 ③環境学習の推進		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	341人	450人
	マイバッグ持参率	45%	80%

プロジェクト名	Ⅱ-4 光害対策プロジェクト		
目標	川辺には蛍が無い、夜空を見上げれば天の川、適度に足元が明るい照明が生み出す安全で、自然が身近に感じられるようにする		
行動計画	・光害対策型照明設備の設置状況の把握及び設置必要箇所への働きかける。 ・光害調査の実施。 ・啓発イベントやスカイクオリティメーターの利用促進を通じ、光害(夜空の明るさ等)の関心を高める。		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	161人	250人
	屋外照明フルカットオフ率	未調査	30%

プロジェクト名	Ⅲ-1 太陽エネルギー普及促進プロジェクト		
目標	資源を大切にし、再生可能エネルギーである太陽光を活用した、地球環境保全に配慮した持続可能で活力あるまちにする 10万戸が太陽光発電を付けた長野市にする		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 太陽エネルギー普及のためのイベントの開催(7回/年) 視察の実施(1回/年) 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	900人	1,200人
	イベントや出前講座数	7件	9件

プロジェクト名	Ⅲ-2 ながのカーボンオフセットプロジェクト		
目標	市民・団体・事業者一人一人が、自身の生活・活動に伴う環境負荷を自覚して、環境に優しい地域社会構築への協働に努めるようにする		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業(排出量仲介事業+オフセットプロバイダー)の制度を設計する 協働メンバー(事業者・団体・市民)の拡充を図る 制度設計完了、試行事業の実施、検証する 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	32人	200人
	協働メンバー数	0人	1,000人
	CO2削減量 (対平成24年度比)	—	100t

プロジェクト名	Ⅲ-3 子どもの環境学習支援プロジェクト		
目標	こどもエコクラブでは主に小学生が親と一緒に活動し、中高生になったら「ユースクラブ」で自主的に環境活動を行い、様々な市民環境団体との連携も図れるようにする		
行動計画	・市内エコクラブや各種環境団体と連携を図りながら、子どもの環境学習支援の企画と運営する		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	256人	300人
	各種イベント、学習会への 参加者数 (年間参加者数)	100人	300人
	C02削減量 *指標(イベント・学習会参加者の 環境意識向上による自主的な省エ ネ活動量：一人4.6kg-C02 (テレ ビ(100W)100時間使用停止相当) (対平成24年度比)	—	1.84t

プロジェクト名	Ⅲ-4 GLOBEプロジェクト		
目標	子どもたちと長野の環境指標を観測し、身の回りの環境の変化を知り、GLOBEを通じて、長野から世界への環境意識を広げているまち		
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・TOiGO屋上への観測機器の設置及びGLOBEへの接続 ・子ども観測所の設置 ・上記施設を利用した学習会の開催及び温地図の作成 ・国際ユース会議と協力し、長野と世界をGLOBEを通じて考える子どもとそれを支援する大人をつなげる。 		
数値目標	指標	現状：平成24年度	目標：平成28年度
	プロジェクト参加者数 (年間・延べ人数)	16人	100人
	こども観測所の設置	0	1
	C02削減量 *指標(イベント・学習会参加者の 環境意識向上による自主的な省エ ネ活動量：一人2.3kg-C02 (テレ ビ(100W)50時間使用停止相当) (対平成24年度比)	—	0.192t